

倉吉市周遊滞在型 観光地モビリティ向上計画

(素案)

令和4年2月

倉吉市

目 次

第1章. はじめに	1
1-1 計画策定の背景と目的	1
1-2 対象地域	2
第2章. 周遊滞在エリアの地域特性	3
2-1 上位・関連計画の整理	3
2-2 地域特性の整理	10
2-3 交通特性の整理	20
第3章. 観光客等の移動実態及びニーズの把握	28
3-1 観光客の移動実態の整理	28
3-2 試乗会におけるニーズの把握	45
3-3 関係者ヒアリングにおけるニーズの把握	58
第4章. 周遊滞在エリアの課題の整理	61
4-1 周遊滞在エリアの課題の整理	61
第5章. モビリティ向上の方向性と具体案	62
5-1 モビリティ向上の方向性と具体案	62
第6章. 来年度の実証実験に向けた方向性	74
6-1 来年度の実証実験に向けた方向性	74
第7章. 今後のスケジュール	76
7-1 実施体制	76
7-2 スケジュール	76
第8章. 周遊滞在エリアの整備構想 ※令和4年度以降検討	
8-1 全体構想	
8-2 概算事業費	

第1章 はじめに

1-1 計画策定の背景と目的

本市においては、これまで交流人口の拡大による地域経済の活性化を図る為に“レトロ&クールツーリズム”を推進してきました。しかしながら、観光入込客数の伸び悩みや観光客の市内滞在時間が短いことに起因して、観光消費額の増大や関係人口の増加に繋がっていない状況です。そうしたなかで、2018年には円形劇場くらのよしフィギュアミュージアムが開館、2021年の小川氏庭園のリニューアル、令和7年の鳥取県立美術館の開館等の新たな魅力が誕生しており、これらを活かした周遊滞在型の観光まちづくりが必要です。

本市としては、第12次倉吉市総合計画において、主要な課題として人口減少や少子高齢化を設定しており、課題解決に向けた取組方針の一つとして“観光資源を活用した周遊滞在型観光地の創造”を定めています。この上位計画の取組方針に基づき、グリーンスローモビリティを活用した周遊滞在型の観光地づくりに取り組むこととしており、倉吉市観光ビジョンに記載のある3つの基本方針“Ⅰ. 周遊滞在エリアの設定”“Ⅱ. 観光客の来訪目的に合わせた魅力づくり”“Ⅲ. 市民の観光おもてなし意識の向上”の視点を意識して、暮らし良い観光地として魅力高いまちづくりを進めているところです。

本計画は、令和7年春に予定されている鳥取県立美術館の開館を見据えながら、打吹玉川伝統的建造物群保存地区や西側の円形劇場くらのよしフィギュアミュージアム等の観光スポットにおいて、多種多様な観光スタイルに応じたモビリティの向上により、多くの観光客が訪れ、楽しみながら周遊し、滞在できる個性豊かな魅力溢れる観光地として創り上げるために、モビリティの向上に資する計画を策定するためのものです。

1-2 対象地域

本計画の対象地域は、鳥取県立美術館の建設予定地から、打吹玉川伝統的建造物群保存地区を通り、西側に位置する円形劇場くらしフィギュアミュージアム、国登録有形文化財の小川家住宅までの東西約2.5キロメートル、南北約0.5キロメートルの区域とします。（以降「周遊滞在エリア」という。）

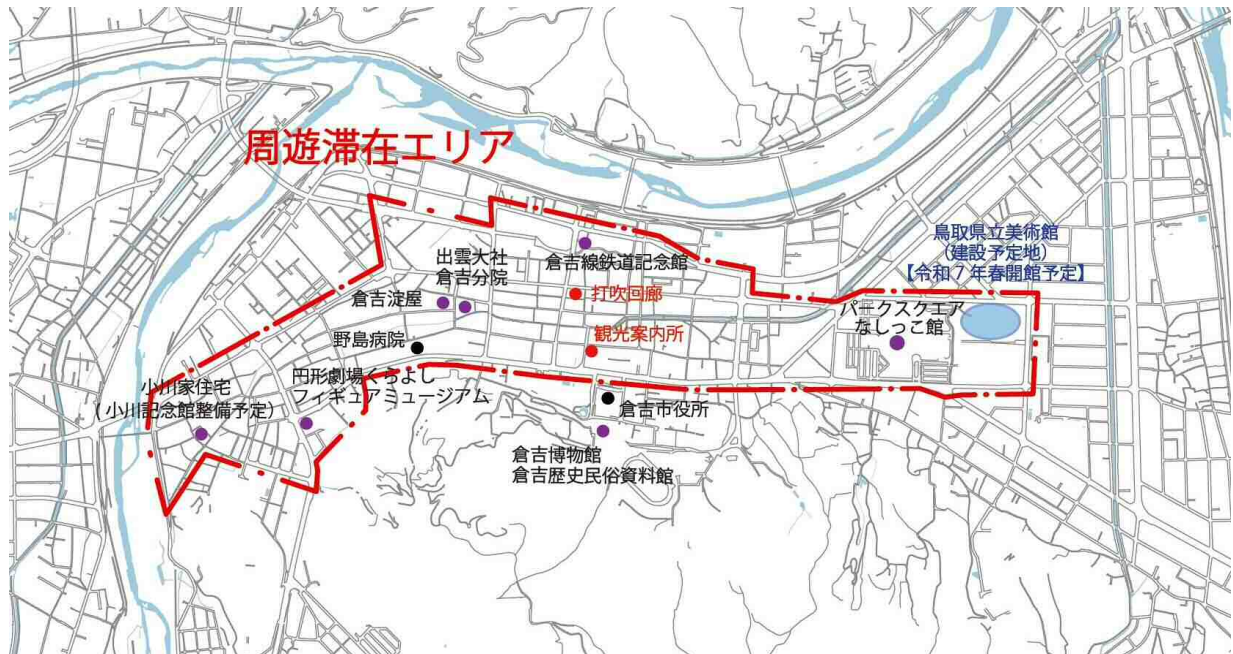


図 計画対象地域

第2章 周遊滞在エリアの地域特性

2-1 上位・関連計画の整理

本計画に関連する上位計画について、以下のとおり整理をしました。

(1)第12次倉吉市総合計画

計画期間	令和3年度～12年度
まちづくりの基本理念	 <p>The infographic details the following strategies:</p> <ul style="list-style-type: none"> 1 地域資源を最大限に活かして躍動するまちづくり <ul style="list-style-type: none"> (1) 農畜水産業の振興 (2) 企業が持つ特性・特色を活かした商工業の振興 (3) 安定した雇用の維持と確保 (4) 森林の適正な保全 (5) 地域資源を活かした観光の振興 (6) スポーツツーリズムの推進 2 誰もが自分らしく生きることのできる共生のまちづくり <ul style="list-style-type: none"> (7) 子育て支援の充実 (8) 障がい者の社会参加と自立促進 (9) 働きがちな長寿社会の実現 (10) 生活困窮者等の自立支援 (11) 健康づくりの推進 (12) 人権尊重の確立と男女共同参画社会の実現 3 未来を拓く人を育て、芸術が輝くまちづくり <ul style="list-style-type: none"> (13) 生きる力を育む学校教育の充実 (14) 社会全体の連携による生涯学習の推進 (15) 文化財の保存、活用、伝承 (16) 文化・芸術活動の振興 4 安全・安心なまちづくり <ul style="list-style-type: none"> (17) 移住定住・交流の促進 (18) 水の安定供給と適正な下水処理 (19) 廃棄物の減量と適正処理 (20) 環境保全と循環型社会の構築 (21) 交通安全・防犯・消費者対策の推進 5 災害に強く、快適で潤いのあるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> (22) 安全で快適に移動できる道路ネットワークの構築 (23) 生活地域を一体化する公共交通ネットワークの充実 (24) 都市と自然・歴史・文化が調和した過渡型まちづくりの推進 (25) 災害に強いまちづくりの推進 行政経営の方針 <ul style="list-style-type: none"> 経営方針1 (26) 市民と協働したまちづくりの推進 経営方針2 (27) 効果的・効率的な行政運営の推進 経営方針3 (28) 財政の健全性の確保 経営方針4 (29) 市政の情報発信と広報活動の充実
施策の展開	<p>施策（5）地域資源を生かした観光の振興</p> <p>【今後の取組方針】 観光資源を活用した周遊滞在型観光地の創造</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤瓦・白壁土蔵群の重要伝統的建造物群保存地区の伝統ある町並み（レトロ）とアニメなどのポップカルチャー（クール）を融合した、“レトロ&クールツーリズム”に、芸術（アート）を加えてさらに推進し、ここにしかない観光地を作り上げます。 ・観光客は電気自動車や電動自転車などのグリーンスローモビリティで移動、観光する周遊滞在型の観光地を作ります。

(2)第2期倉吉市まち・ひと・しごと創生総合戦略

計画期間	令和3年度～令和7年度																								
基本目標	<p>基本目標1 仕事を増やし、安定した雇用を創出する</p> <p>基本目標2 人と人が繋がり、新たな人の流れをつくる</p> <p>ア 地域資源を活かした観光の振興</p> <p>イ 移住定住・交流の促進</p> <p>基本目標3 子どもを産み育てやすい環境をつくる</p> <p>基本目標4 一人ひとりが輝き、魅力的な地域をつくる</p>																								
具体的な施策と重要業績指標	<p>【具体的な施策】</p> <p>大切に引き継がれてきた伝統的な建物や守り育まれてきた伝統文化と、新しく生み出されるポップカルチャーが調和を持って芸術的に融合した、ここにしかない個性豊かな観光地をつくります。観光施設や文化施設が多様な移動手段で有機的に繋がり、中心市街地一帯を周遊滞在型の観光地にします。また、東大山山麓の豊かな自然環境や関金温泉等の地域資源を活かした健康増進やワーケーションの場として中長期滞在型の温泉地を作ります。</p> <p>【重要業績指標】</p> <table border="1" data-bbox="427 983 1377 1440"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>指標の説明（出典）</th> <th>現状値</th> <th>目標値 (令和7年)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市内観光入込客数【人】</td> <td>観光のために倉吉市を訪れた人の数</td> <td>1,262,729人 (令和元年度)</td> <td>1,500,000人</td> </tr> <tr> <td>赤瓦・白壁土蔵群入込客数【人】</td> <td>白壁土蔵群観光案内所に設置のカウントセンサー(アウト)の通過人数</td> <td>568,184人 (令和元年度)</td> <td>670,000人</td> </tr> <tr> <td>観光宿泊者数【人】</td> <td>市内宿泊施設の宿泊者数</td> <td>101,264人 (令和元年度)</td> <td>120,000人</td> </tr> <tr> <td>関金温泉利用者数【人】</td> <td>関金温泉施設に入浴した人の数</td> <td>121,834人 (令和元年度)</td> <td>140,000人</td> </tr> <tr> <td>農家民泊宿泊数【人】</td> <td>農家民泊の受入人数</td> <td>1,441人 (令和元年度)</td> <td>5,500人</td> </tr> </tbody> </table> <p>【具体的な事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光資源を活用した周遊滞在型観光地創造事業 	指標名	指標の説明（出典）	現状値	目標値 (令和7年)	市内観光入込客数【人】	観光のために倉吉市を訪れた人の数	1,262,729人 (令和元年度)	1,500,000人	赤瓦・白壁土蔵群入込客数【人】	白壁土蔵群観光案内所に設置のカウントセンサー(アウト)の通過人数	568,184人 (令和元年度)	670,000人	観光宿泊者数【人】	市内宿泊施設の宿泊者数	101,264人 (令和元年度)	120,000人	関金温泉利用者数【人】	関金温泉施設に入浴した人の数	121,834人 (令和元年度)	140,000人	農家民泊宿泊数【人】	農家民泊の受入人数	1,441人 (令和元年度)	5,500人
指標名	指標の説明（出典）	現状値	目標値 (令和7年)																						
市内観光入込客数【人】	観光のために倉吉市を訪れた人の数	1,262,729人 (令和元年度)	1,500,000人																						
赤瓦・白壁土蔵群入込客数【人】	白壁土蔵群観光案内所に設置のカウントセンサー(アウト)の通過人数	568,184人 (令和元年度)	670,000人																						
観光宿泊者数【人】	市内宿泊施設の宿泊者数	101,264人 (令和元年度)	120,000人																						
関金温泉利用者数【人】	関金温泉施設に入浴した人の数	121,834人 (令和元年度)	140,000人																						
農家民泊宿泊数【人】	農家民泊の受入人数	1,441人 (令和元年度)	5,500人																						

(3)倉吉市観光ビジョン

<p>計画期間</p>	<p>平成 29 年度～31 年度</p>														
<p>基本理念</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">解決すべき課題に対する戦略の考え方</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="background-color: #f9cb9c; padding: 5px;">課題</td> <td style="padding: 5px;">資源の目的化</td> <td style="padding: 5px;">観光モデルコースの整備</td> <td style="padding: 5px;">滞在時間の延伸</td> </tr> </table> <p style="text-align: center; color: red; font-size: 2em;">▼</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td style="background-color: #f9cb9c; padding: 5px;">アクション</td> <td style="padding: 5px;">来るべき理由づけ</td> <td style="padding: 5px;">魅力・見どころを重視したコースづくり</td> <td style="padding: 5px;">より長くいられる／いたくなる仕組みづくり</td> </tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;"> <p>倉吉の魅力を正しく整理し、望むべき旅行者により満足してもらえる 『コンテンツ・メニュー（倉吉市からの資源の楽しみ方）の提案』</p> </div> <p style="text-align: center; color: red; font-size: 2em;">▼</p> <p style="text-align: center; color: red; font-weight: bold;">考え方</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="background-color: #c8e6c9; padding: 5px; text-align: center;">1 観光誘客</td> <td style="padding: 5px;">観光客においては、例えば日帰り客と宿泊客では、食事や見るべきポイントの優先順位が異なるため、これを同一視せずに、細分化して提案・構築していくことが重要</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #ffe0b2; padding: 5px; text-align: center;">2 来訪価値の向上</td> <td style="padding: 5px;">届けるべき内容のみに注目するのではなく、「誰が何をどのように」と網羅的に整理</td> </tr> <tr> <td style="background-color: #bbdefb; padding: 5px; text-align: center;">3 受入環境の整備</td> <td style="padding: 5px;">観光客が勝手に来訪し、満足することは考えづらいため、観光客にストレスなく、また、存分に観光を楽しんでもらうための受け入れ体制に視野を拡大</td> </tr> </table> </div>	課題	資源の目的化	観光モデルコースの整備	滞在時間の延伸	アクション	来るべき理由づけ	魅力・見どころを重視したコースづくり	より長くいられる／いたくなる仕組みづくり	1 観光誘客	観光客においては、例えば日帰り客と宿泊客では、食事や見るべきポイントの優先順位が異なるため、これを同一視せずに、細分化して提案・構築していくことが重要	2 来訪価値の向上	届けるべき内容のみに注目するのではなく、「誰が何をどのように」と網羅的に整理	3 受入環境の整備	観光客が勝手に来訪し、満足することは考えづらいため、観光客にストレスなく、また、存分に観光を楽しんでもらうための受け入れ体制に視野を拡大
課題	資源の目的化	観光モデルコースの整備	滞在時間の延伸												
アクション	来るべき理由づけ	魅力・見どころを重視したコースづくり	より長くいられる／いたくなる仕組みづくり												
1 観光誘客	観光客においては、例えば日帰り客と宿泊客では、食事や見るべきポイントの優先順位が異なるため、これを同一視せずに、細分化して提案・構築していくことが重要														
2 来訪価値の向上	届けるべき内容のみに注目するのではなく、「誰が何をどのように」と網羅的に整理														
3 受入環境の整備	観光客が勝手に来訪し、満足することは考えづらいため、観光客にストレスなく、また、存分に観光を楽しんでもらうための受け入れ体制に視野を拡大														
<p>施策の展開</p>	<p>【解決すべき課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●「赤瓦・白壁土蔵群」へわざわざ訪れたいくなるような資源の目的化を図り、 ●「赤瓦・白壁土蔵群」を定番にすえた観光モデルコースの作成を行い、 ●選ばれる観光地をめざし、より長時間の滞在を実現することが、倉吉のこれからの観光にとって必要 <p>【戦略の柱】 受け入れ環境の整備</p> <p>観光に関連した「まちづくり」による内外の利便性の向上につなげる動き。</p> <p>【施策の方向性】</p> <p>⑤観光基盤整備</p> <p>・ゾーンごとに観光客のニーズに合った観光基盤を整えることも必要なことです。また各ゾーンを巡る周遊ルートを設定し、回遊性を高め、滞在時間の延長や消費拡大につなげます。</p> <p>⑥交通利便性向上</p> <p>・観光客がどのような交通手段で来訪しても、ストレスなく観光スポットにたどり着くことができるよう、分かりやすいアクセス方法の整備を目指します。</p>														

(4)第2期倉吉市中心市街地活性化基本計画

計画期間	令和2年～令和7年
中心市街地の活性化の目標	<p data-bbox="352 259 710 293">【中心市街地の基本テーマ】</p> <div data-bbox="347 315 1410 667" style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p data-bbox="715 322 1038 356">みんなで進める復興と福高</p> <p data-bbox="459 385 1294 418">～レトロとクール融合により新たな活気とにぎわいの溢れるまち～</p> <p data-bbox="357 450 1401 658">近い将来に予想される人口構造のほか観光産業、新規創業などによる都市型産業等を活性化させていくため、倉吉市固有の歴史・文化とフィギュア・デジタルコンテンツといった新たな資源を融合し、県中部地域の玄関口という特性を活かしつつ、地域のやる気と創意工夫のもとで個性豊かな商業活動や新たな起業が活発に展開され、地域経済が着実に循環するまちとして、居心地がよく、歩いて楽しく、暮らしよい活気とにぎわいのある中心市街地。</p> </div> <p data-bbox="352 739 679 772">【活性化の基本的な方針】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="347 786 1254 819">i) みんなで積極的に住みたく暮らしたる賑わい再生を目指すまち <li data-bbox="347 833 1420 866">ii) 歴史的資源とポップカルチャーを活かし観光おもてなし力の向上を目指すまち <p data-bbox="336 882 608 916">○取り組みの方向性</p> <p data-bbox="336 929 1425 1010">伝統的建造物群の利活用や歴史的・文化的な資源の発掘による観光地としての魅力向上</p> <p data-bbox="336 1023 1425 1104">体験型観光ニーズに対応したプログラムの提供、倉吉の環境を生かした滞在型観光の推進</p> <p data-bbox="336 1120 1225 1153">歴史的な市街地の歩行環境等、回遊型の観光を行いやすい環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> <li data-bbox="347 1167 1283 1200">iii) 多種多様なビジネスが活性化し地域の商業活動の発展を目指すまち

(5)鳥取美術館整備基本計画

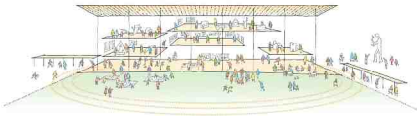
<p>新美術館の目的・コンセプト</p>	<div style="border: 2px solid green; padding: 10px; text-align: center;"> <p>「私たちの県民立美術館」</p> <p>未来を「つくる」美術館</p> <p>～いろんな「つくる」で「とっとりのアート」の「むかし」「いま」そして「みらい」をつむぐ～</p> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>1. 人を「つくる」</p> <p>(1) 「みるひと」をつくる：多くの人が訪れる美術館に</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魅力的な企画展示 ・通常の展示が鑑賞しにくい方に配慮した展示 ・従来の美術館像にとられない賑わい機能の創出 ・オープンな美術館 等 <p>(2) 「つくるひと」をつくる：さまざまな創作者を支援しそだてる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちや県民の美術創作の支援 ・障がい者アートの支援 ・幅広い芸術表現との連携 等 <p>(3) 「みらいの才能」をつくる：未来人材教育プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもたちに身近な美術館 ・「とっとりの美術」をまなび・つくる環境を 等 <p>(4) 「居場所」をつくる：時間を過ごすことが楽しめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サードプレイスにもなる心地よい美術館 ・多機能な美術館 </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>2. まちを「つくる」</p> <p>(1) 周辺施設とまちをつくる：周辺施設とともにまちをささえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉パークスクエアと一体となったイベントの開催 ・大御堂廃寺跡と連携したのびやかで広がりある美術館 ・倉吉市立図書館等との連携 <p>(2) 地域とまちをつくる：地域の魅力をたかめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白壁土蔵群等との連携 ・ポップカルチャー資源の活用 等 <p>(3) 他館とまちをつくる：連携により地域の魅力をたかめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内の美術館と連携した広域的展開 ・県外美術館との交流 ・他施設を活用した展開 等 </div> <div style="border: 1px solid orange; padding: 5px;"> <p>3. 県民が「つくる」</p> <p>(1) 県民が誇れる美術館</p> <ul style="list-style-type: none"> ・誇りに思える美術館に ・みんなが楽しめるオープンな美術館 <p>(2) 県民が参加できる美術館づくり：県民とともにささえる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民による美術館づくりへの参加 ・つくるプロセスをオープンに ・県民が支え育てる美術館 等 <p>(3) 展示・収藏品とともに成長していく美術館 ～施設完成がはじまり～</p> <ul style="list-style-type: none"> ・収藏品を増やし成長する美術館 ・収藏品とともに研究を深める美術館 等 </div> </div>
<p>施策の展開</p>	<p>【必要な機能と事業展開】 付帯的な機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新美術館では、これまでに触れた中心となる機能や、新しい美術館ならではの取り組みに加えて、より多くの方々に美術館の魅力を発信し、利用していただくための機能を整備していきます。 ・そして、来館する全ての利用者が、くつろぎや居心地の良さを感じながら幅広い「たのしみ」を享受できる場所を目指し、多様な利用とにぎわいを生み出す取り組みを始めます。 ・こうした取り組みによって、美術館の多様な利用に加え、倉吉パークスクエアや大御堂廃寺跡を含めたエリア一体での交流、さらには白壁土蔵群や青山剛昌ふるさと館などの周辺施設をはじめ、県中部や県内各地の観光地への周遊を促進していきます。 <p>【利用促進策】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倉吉パークスクエア全体や大御堂廃寺跡との連携による利用促進 ・白壁土蔵群等周辺施設との徒歩による散策・回遊ルートの設定

(6)その他鳥取県立美術館建設に係る関連資料等

美術館 PFI 整備事業者決定 事業概要 (1/2)

空間と運営を一体的に捉えた取組み体制により、20年の事業期間を活かし『とっとりの未来をつくる』美術館の実現

- 県民が主役のアート活動拠点として、**みんなで作る『とっとりアートプレイス』**
～みらいをつくる美術館を目指して～



- **アートとの多彩な出会いがある空間**
 - ≫ とっとりらしさに包まれた居心地の良い美術館
 - ≫ 立体回遊による多様な空間体験が創造性を喚起
 - ≫ 歴史性・地域性を創造的に継承した姿
- **共に・集まり・つくるを誘発する運営**
 - ≫ 県と民間の協働による鳥取発の運営モデル
 - ≫ 館内の様々な場所でアートに触れるしかけ
 - ≫ 地域の持続的成長につながる美術館活動の展開

- **各分野で実績豊富な企業と県内有力企業によるチームで、永く親しまれる美術館を“共につくる”**



大御堂庵寺跡から見た美術館 人々の活動が主役となって美術館の姿を創り上げる

- 『とっとりの未来をつくる』美術館

- ≫ ひとをつくり、育てる ひとをつなぐ 心地よさ・交流・未来への人材の育成
- ≫ まちをつくり、育てる 一まちをつなぐ 倉吉のまちづくり・美術館連携の拠点
- ≫ 文化をつくり、育てる 一文化をつなぐ 自然、歴史、文化の継承と創造・発信



大屋根とエントリープラザが大らかに人々を迎える

創作テラスから『ひろま』へ活動につながる

⇒大屋根の下に様々な体験が立体的に展開する『ひろま』

とっとりから世界へ



今からみらいへ



居心地の良い『ひろま』を中心に展開する多様な体験

出会いと発見をもたらす豊かな回遊性

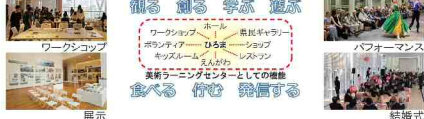
- 多様な『体験の舞台』と立体的回遊性



多様な視線の交錯によって生み出される創造性のある『ひろま』の雰囲気

- **諸室と連携して多様な活用が可能な『ひろま』**
美術ラーニングセンターとして機能する

≫ 地域に根差したコミュニティと文化を創造・発信する拠点となります

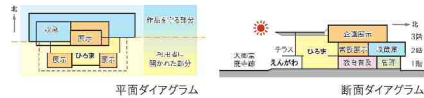


- **快適な心地の良い『ひろま』の実現**



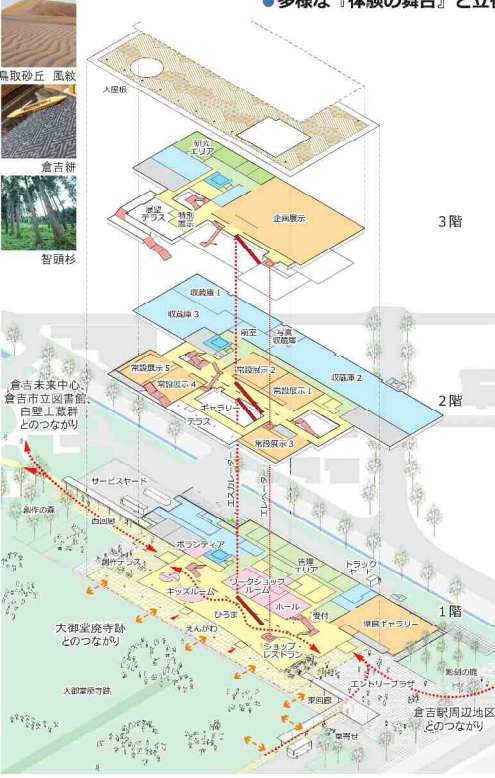
居住域空調と自然エネルギーの活用

- **明快な平面、断面による機能性とわかりやすさ**



平面ダイアグラム

断面ダイアグラム



大御堂庵寺跡を一望できる展望テラス



魅力的な展示でにぎわう企画展示室



創作テラスにつながるキッズルーム



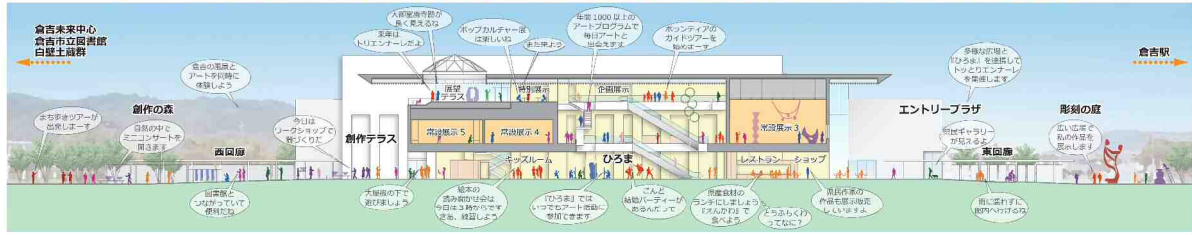
広く明るいエントランスロビー



大御堂庵寺跡と連携した催しのイメージ

美術館 PFI 整備事業者決定 事業概要 (2/2)

“アートピアとっとり”の実現に向けて、県民の皆さんと一緒に、活動を街・県内に展開していきます



● 毎日来ても楽しい、何かと出会える美術館

- ▶ 1階から3階まで、無料で自由に入れる場所が広がります
- ▶ 年間1,000以上の多彩なプログラムを実施し、ひとりでも家族連れでも、子供からお年寄りまで、毎日アートを楽しめます
- ▶ 各所に居心地の良い様々なスペースがあり、“お気に入りの場所”“サードプレイス”としても利用できます



子どもたちの創作ワークショップのイメージ



障がいのある方とアーティストの
コラボレーションによる創作活動

キッズルームでの絵本の読み聞かせ会のイメージ

- ▶ 『ひろま』や『えんがわ』を、ユニークベニューとして活用できます
様々な使い方を皆様とともに工夫し、身近で、親しみやすく、
愛着を持って参加できる美術館を育てていきます



『ひろま』はパフォーマンスやコンサート、結婚式など多様な活動に活用できます

● 「鳥取県立美術館らしさ」を創り、「鳥取の魅力」と共に、広く発信します

- ▶ 県の学芸員の方々と協力しながら、県立美術館としての品格と、親しみやすいみんなで作る美術館を両立します
- ▶ 学芸員と教育普及担当を配置し、子供からお年寄りまで楽しく学べるワークショッププログラムをつくり、美術ラーニングセンターをより魅力的にします



ボランティアの方々と共に、鳥取のアートを日常的に楽しめる鑑賞ツアーを開催

- ▶ 鳥取のまんが作家のみならず、広くポップカルチャーを様々な展覧会やプログラムで発信し、アートのすそ野を広げます
- ▶ 独自のインターネットミュージアムと連携し、発信力を高めます
- ▶ 美術館だけでなく、他の施設、観光、まちづくりの方とも連携して、鳥取の魅力を形作り、発信していきます



ポップカルチャー展と連動したイベントも開催します



運営企業の多彩なポップカルチャー販の実績
運営企業が運営するサイトを活用し広く発信

● 県民の“あったらいいな”でつくるアートな日常

- ▶ レストランは“アートコミュニティダイニング”として、意欲のあるシェフや経営者を募集し、皆さんのチャレンジを後押しします
- ▶ 食材や器に県産品を活用し、コンテスト等で県民参加の機会をつくります
- ▶ ショップでは県内のクリエイターの作品を展示販売、企画展と連携しながらオリジナルグッズも開発します
- ▶ レストランでも様々なイベントを開催します



新たなアート活動の発表の場としても活用されるレストランやミュージアムショップ

● 県民が主役となる美術館を創ります

- ▶ 県民が運営や創作活動など、気軽に日々の活動に参画できる仕組みをつくり、皆さんが担い手となる美術館をつくります
- ▶ 3年に一度、トリエンナーレを開催して、美術館から街へとアートを拡げていき、たくさんの人々を呼び込みます



トリエンナーレでにぎわう美術館のイメージ “アートピアとっとり”の実現に向けて

(2)人口・世帯

①人口・世帯(市全域)

- 倉吉市の総人口は年々減少しており、S55の57,252人からH27の49,044人と35年間の間に14%程度減少しています。
- 倉吉市の総世帯数は、S55からH27にかけて増加しており、総人口の減少とあわせて、核家族化の進行が確認できます。
- 高齢化率はS55の12.6%からH27の31.6%と年々増加しています。倉吉市人口ビジョンによれば、R2からR27にかけて34%前後で推移する見込です。
- 年齢3区分別人口の推移を見ると、S55には老年人口の割合12.6%、年少人口の割合は21.8%であったのに対し、H27には老年人口が31.6%、年少人口が12.6%となり、少子高齢化が深刻化しています。

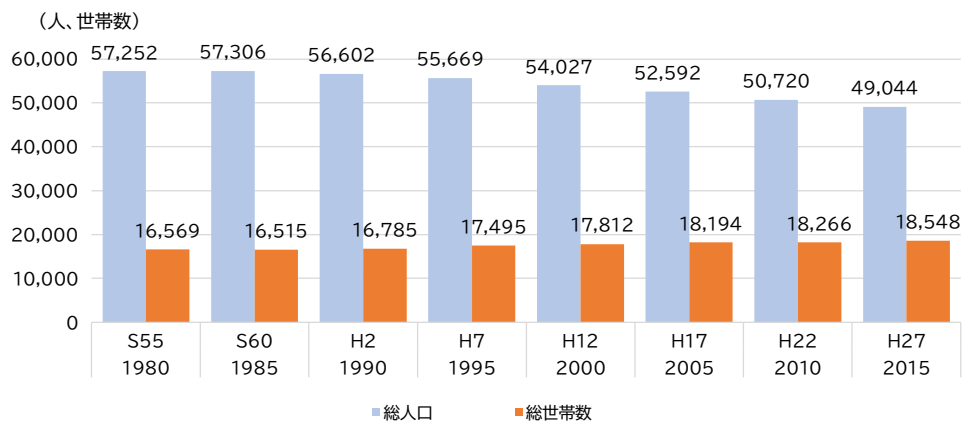


図 本市における総人口、総世帯数の推移

出典：国勢調査

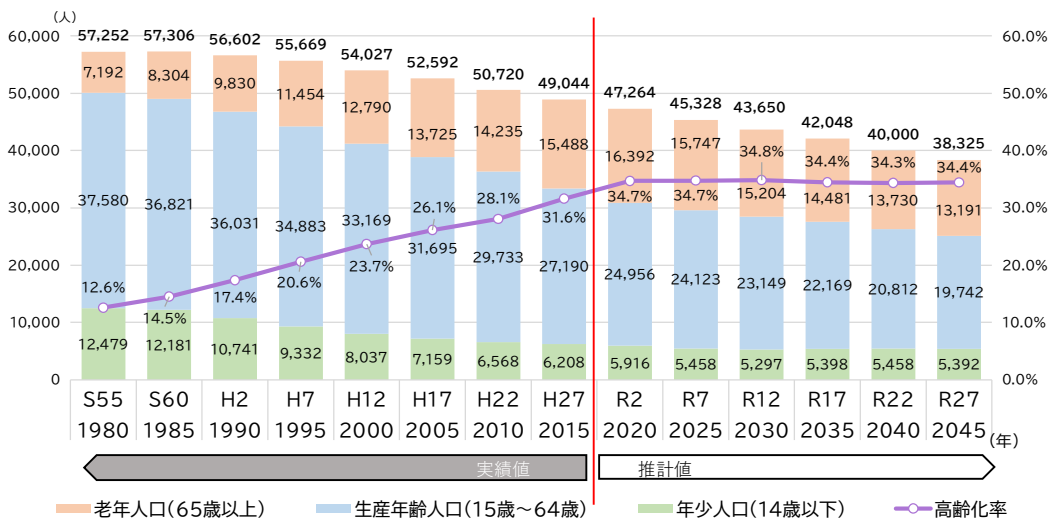


図 本市における年齢3区分人口と高齢化率の推移

出典：国勢調査、倉吉市人口ビジョン

②人口・世帯(周遊滞在エリア)

- 周遊滞在エリアにおける人口はH12では7,962人から、年々減少しH27には6,326人となっています。
- この期間に21%程度人口は減少しており、倉吉市全体と比較して人口減少が急速に進んでいます。
- 周遊滞在エリアにおける世帯数はH12の4,442世帯からH27の3,638世帯にかけて減少傾向にあります。
- H12の老年人口、年少人口はそれぞれ27.1%、29.3%に対し、H27の老年人口、年少人口はそれぞれ36.9%、22.3%と少子高齢化が進行しています。

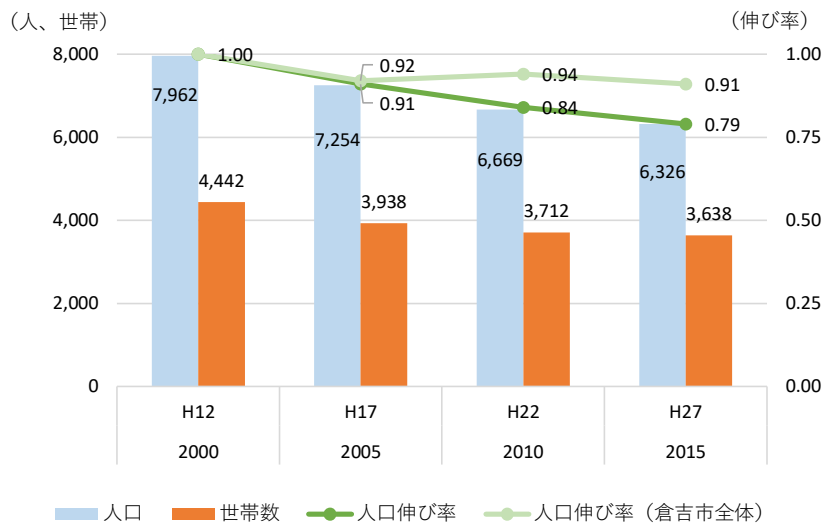


図 周遊滞在エリアにおける人口、世帯数の推移

出典：国勢調査 250m メッシュより算出

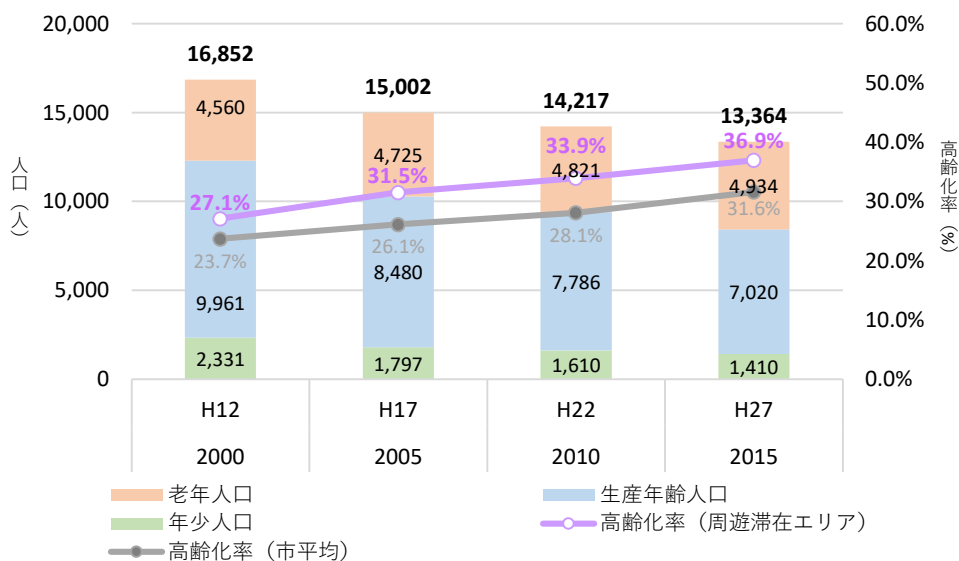


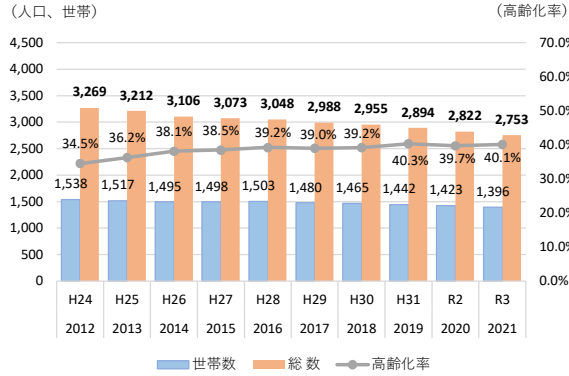
図 周遊滞在エリアにおける年齢3区分人口の推移

出典：国勢調査 250m メッシュより算出

【参考】人口・世帯(成徳・明倫地区)

- 成徳・明倫地区の人口はどちらも減少傾向で推移しています。また、高齢化率については、双方の地区ともに約4割を超えているような状況です。
- 年齢3区分別の人口を見ると、いずれの年代も減少傾向で推移しています。

【成徳地区】



【明倫地区】

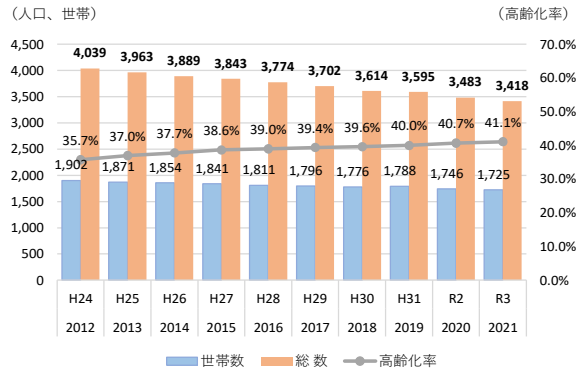
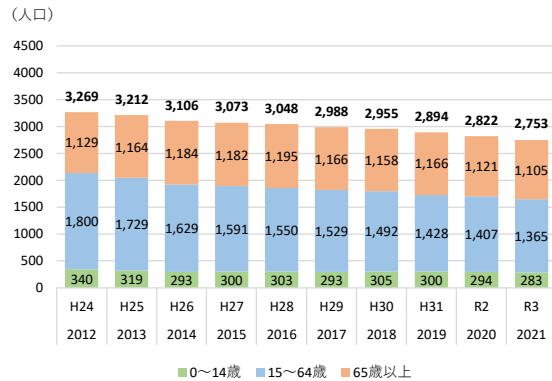


図 成徳・明倫地区における人口、世帯数の推移

出典：住民基本台帳（各年3月末日時点）

【成徳地区】



【明倫地区】

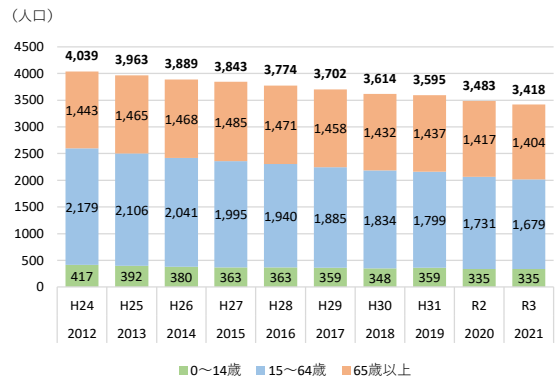


図 成徳・明倫地区における年齢3区分人口の推移

出典：住民基本台帳（各年3月末日時点）

④人口分布

- 倉吉市の人口は周遊滞在エリアを含む打吹地区や倉吉駅周辺に集中しています。
- 地域資源である関金温泉を有する関金地区の一部も人口が集中しています。
- その他の地域には広く低密度に分布しています。

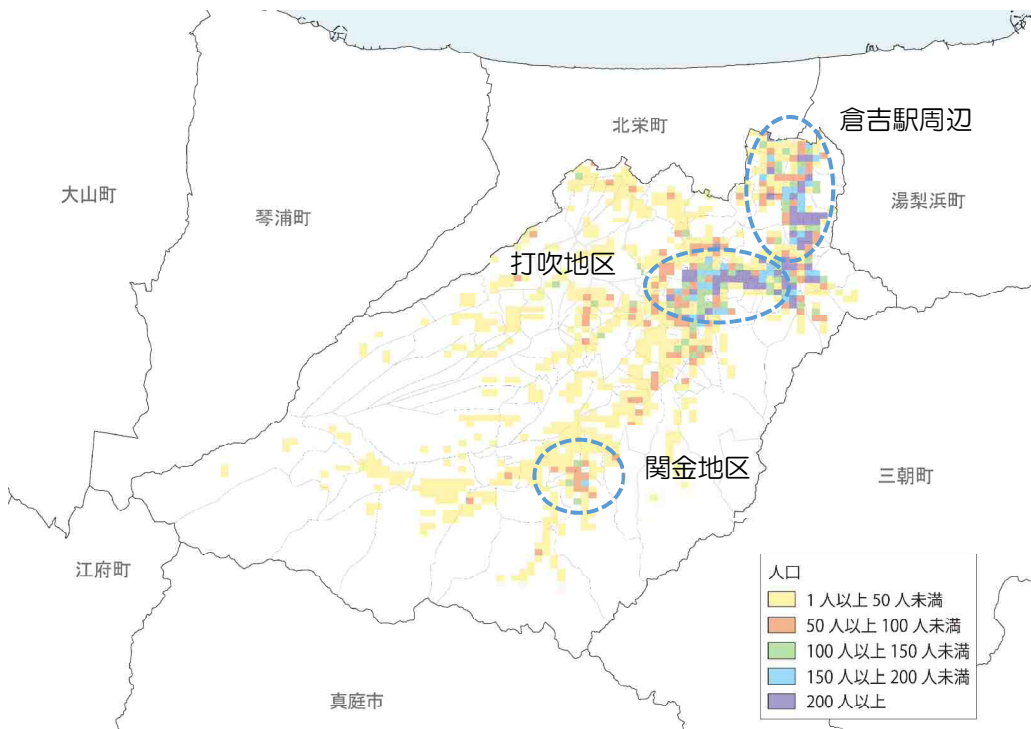


図 市全域における人口分布（250mメッシュ）

出典：国勢調査、国土数値情報他

- 周遊滞在エリア内では、市全域で見ると人口の多い分布であるものの、鍛冶町等の西部は特に人口が低密度で分布している状況です。

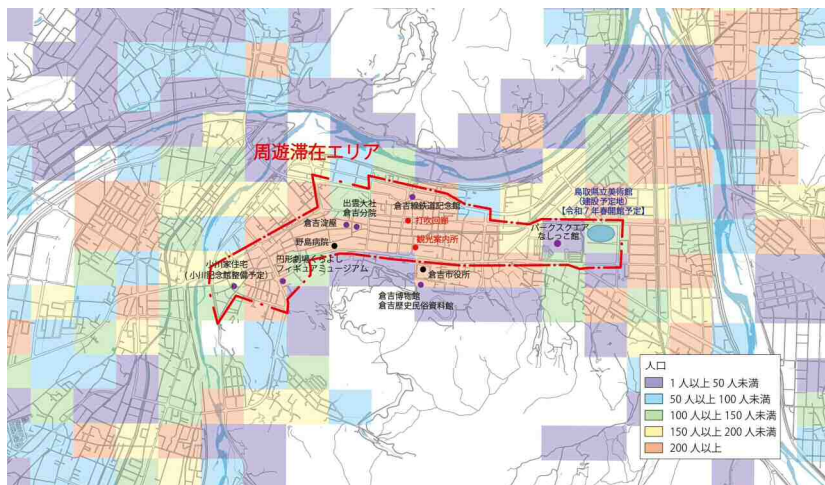


図 周遊滞在エリア周辺における人口分布（250mメッシュ）

出典：国勢調査、国土数値情報他

⑤人口増減

- 倉吉市では、全体的に人口は減少傾向にあり、中心市街地を形成する打吹地区、倉吉駅周辺でも人口が減少しているエリアが多く見られます。

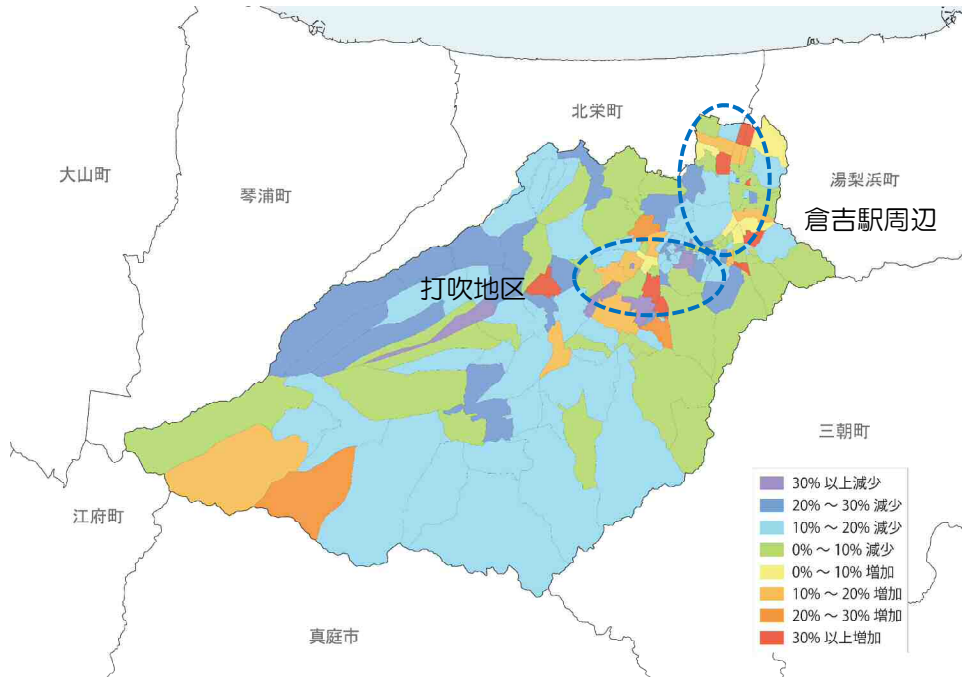


図 市全域における人口増減

出典：国勢調査（H17/H27）

- 周遊滞在エリア周辺は特に人口増減率が大きく、過去10年間で中心部に位置する多くの地域が2割～3割減少している状況です。

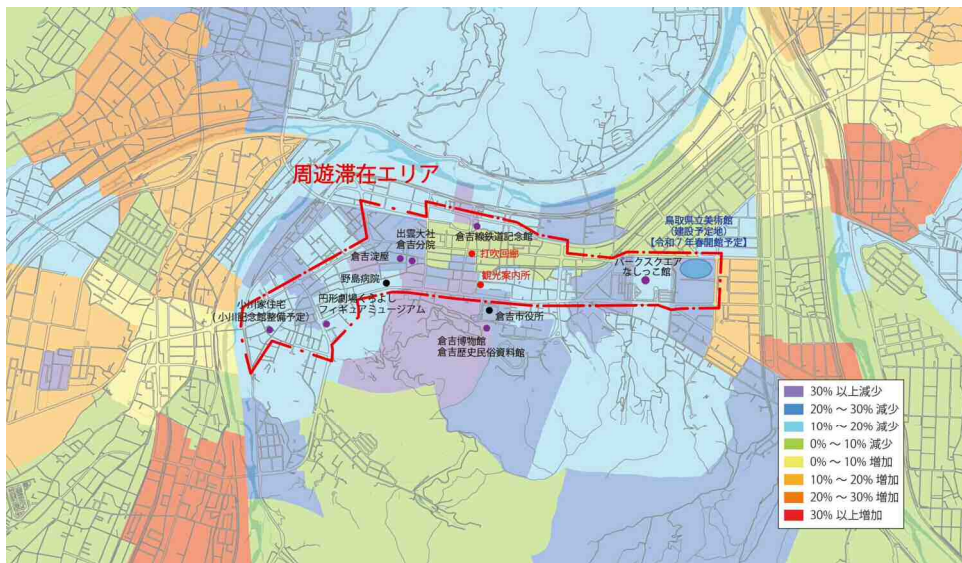


図 周遊滞在エリアにおける人口増減

出典：国勢調査（H17/H27）

(3)施設分布

①施設分布(市全域)

- 倉吉市では、人口の集中する打吹地区や倉吉駅周辺に施設が集中しています。
- 地域資源である関金温泉を有する関金地区の一部も施設が集中しています。

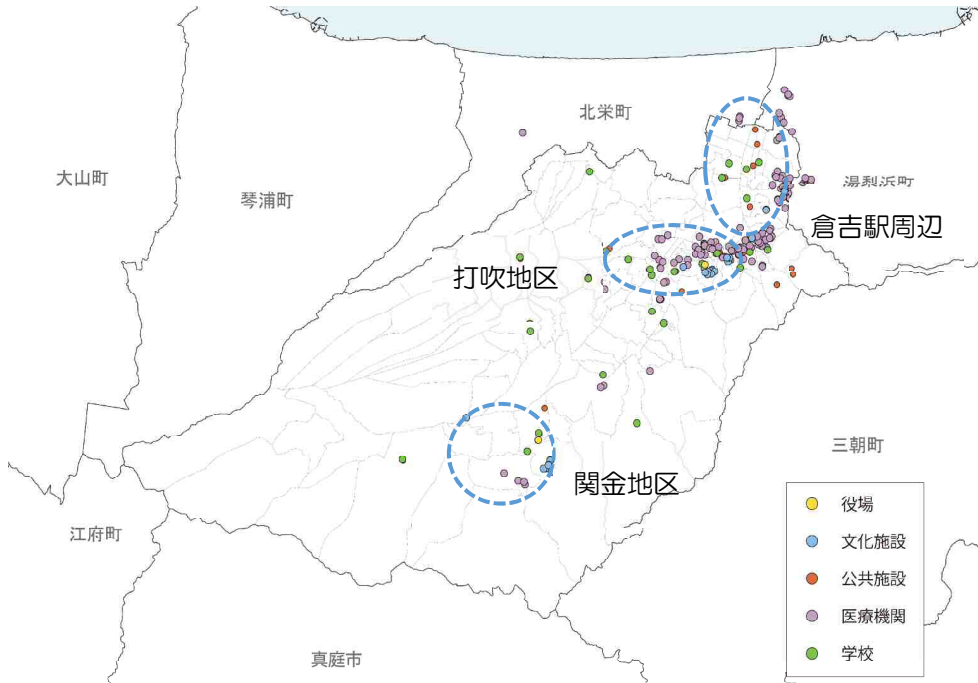


図 市全域における施設分布

出典：国土数値情報他

②施設分布(周遊滞在エリア周辺)

- 周遊滞在エリア周辺には、倉吉市の本庁舎、第2庁舎が位置しているとともに、高密度で医療機関が立地している等、地域の人や市全域から来訪する人が集まるような地域である。
- また、「鳥取二十一世紀梨記念館」や「倉吉博物館」などの他地域からの来訪が見込める文化施設が立地している。

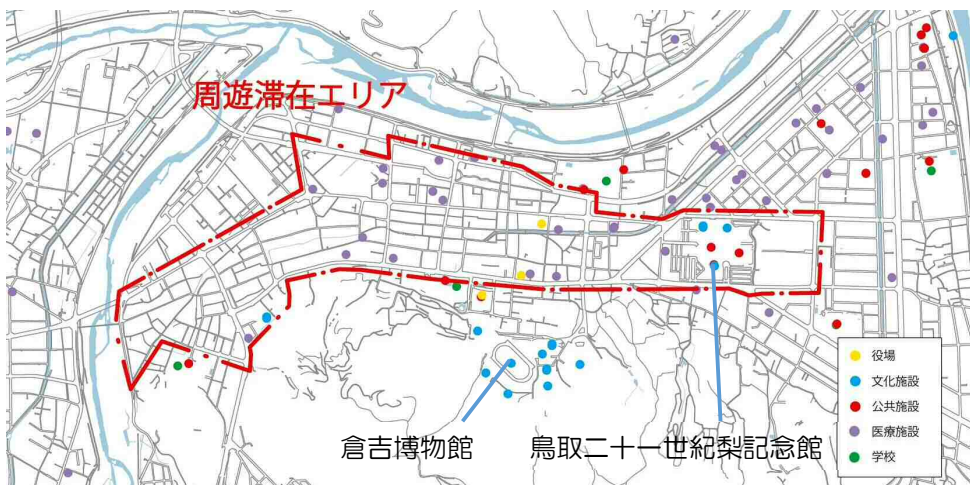


図 周遊滞在エリア周辺における施設分布

出典：国土数値情報他

(4)観光

①観光資源(全体)

- 倉吉市では、打吹地区や関金地区に観光資源が集中しています。

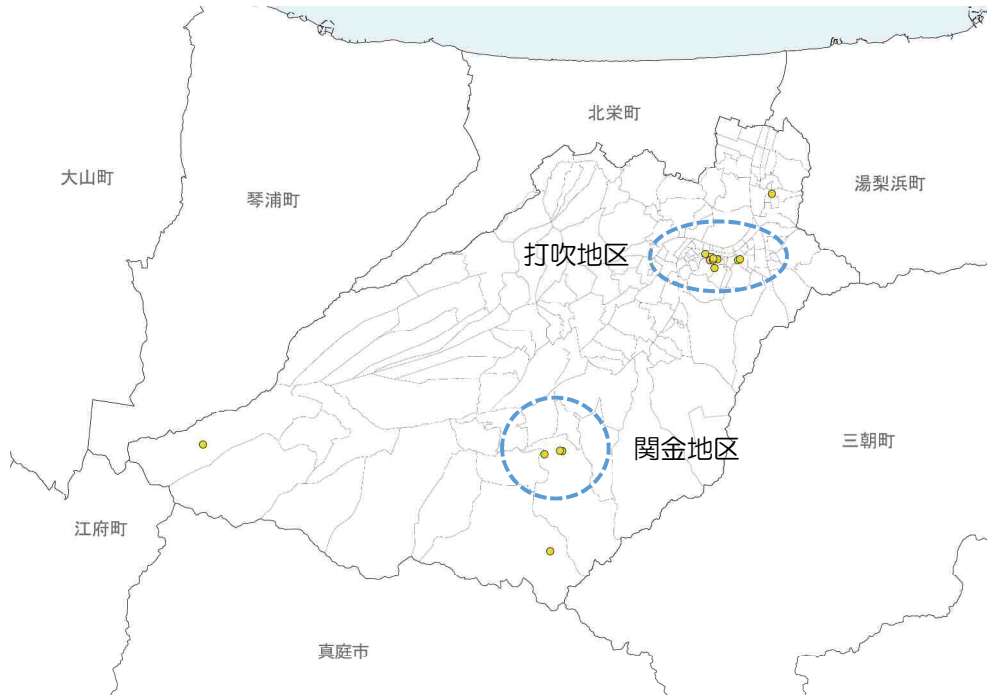


図 市全域における観光資源の分布

出典：国土数値情報

②観光資源(周遊滞在エリア)

- 打吹地区には“円形劇場くらしフィギュアミュージアム”、“打吹玉川伝統的建造物群保存地区”、“パークスクエア”等の観光資源が集中しています。
- 令和7年には鳥取県立美術館が開館予定です。

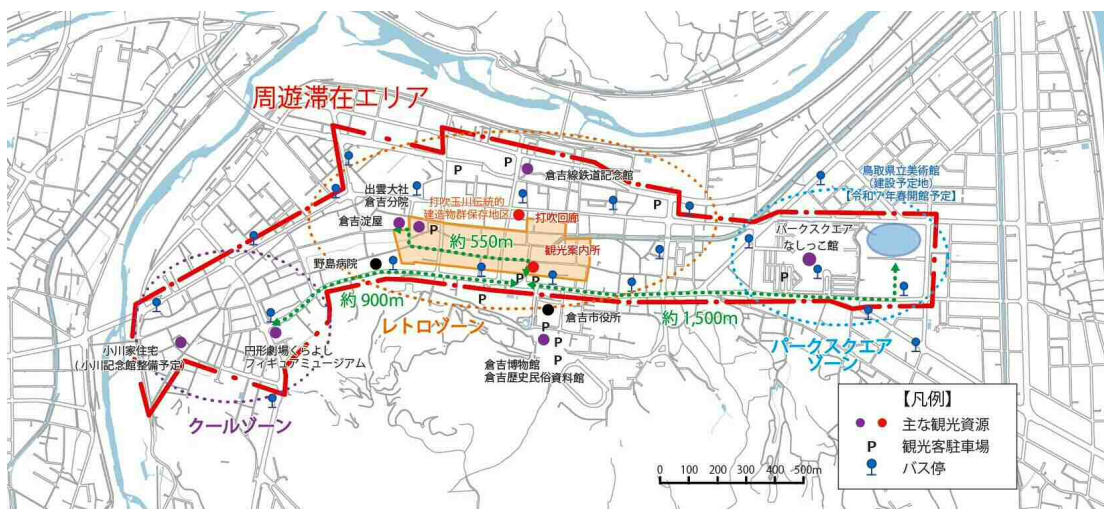


図 周遊滞在エリアにおける観光資源の分布

出典：国土数値情報

③総観光客の推移

- 本市への観光入込客数は、平成25年度から平成27年度にかけて、増加傾向にあります。
- 本市の観光宿泊者数は平成22年度から平成27年度にかけて、緩やかに増加しています。
- 外国人観光客数も、全体のうちのシェアはまだ少ないものの、増加傾向にあります。

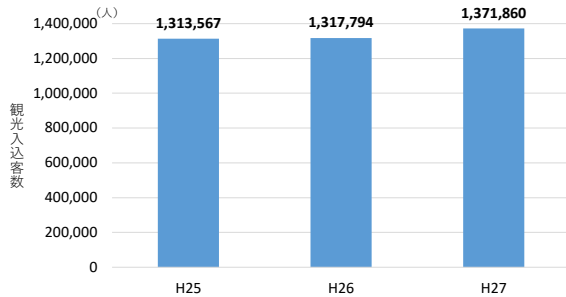


図 倉吉市観光入込客数

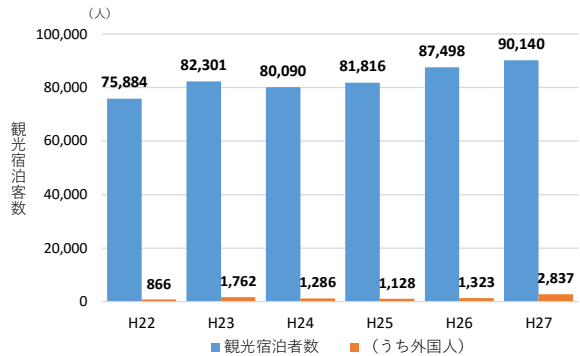


図 倉吉市観光宿泊者数

出典：倉吉市観光ビジョン

④施設別来訪者数等

- 倉吉市の「鳥取二十世紀梨記念館」における施設入込客数は、平成29年から令和2年にかけて徐々に減少しています。
- 「白壁土蔵群・赤瓦」における施設入込客数は、平成28年から平成31年までの期間においては増加傾向となっていますが、令和2年には大きく減少しています。
- 令和2年の両施設の入込客数の減少は新型コロナウイルス感染症の影響が原因だと考えられます。

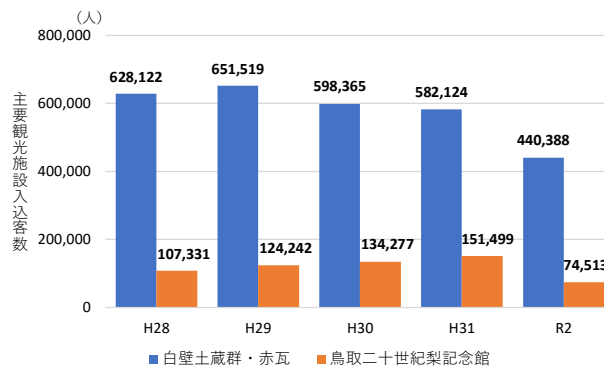


図 施設入込客数

出典：倉吉市観光ビジョン

⑤観光客の利用交通手段

- 観光客の交通手段は、自家用車が約8割を占めており、倉吉市への観光も大半が自家用車であると想定されます。

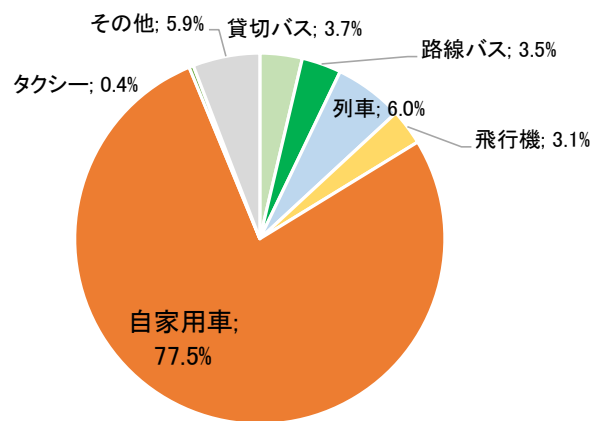


図 観光客利用交通手段

出典：令和元年観光客入込動態調査結果

2-3 交通特性の整理

本市及び周遊滞在エリア内における交通特性について整理をしました。

(1) 道路網

① 市全域

- 市の主要な幹線道路には、一部整備中の地域高規格道路「北条湯原道路」や国道313号、179号が位置し、それらを保管するかたちで県道等が位置しています。

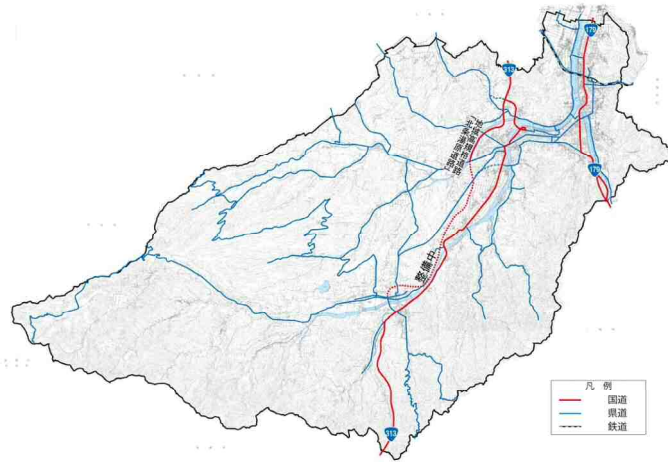


図 市全域における道路網

出典：倉吉市

② 中心市街地

- 中心市街地における倉吉市の都市計画道路は平成29年4月時点で44路線であり、現在も整備が進められています。

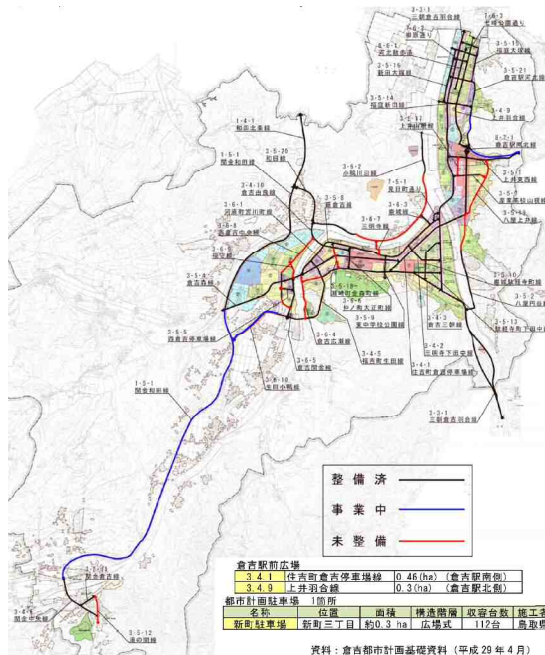


図 中心市街地（打吹地区、倉吉駅周辺）における道路網

出典：倉吉市都市計画マスタープラン

(2)公共交通

①鉄道

- 倉吉駅の1日の平均乗降客数は2011年から2018年にかけて4,300人程度で推移しているなど横ばい傾向です。

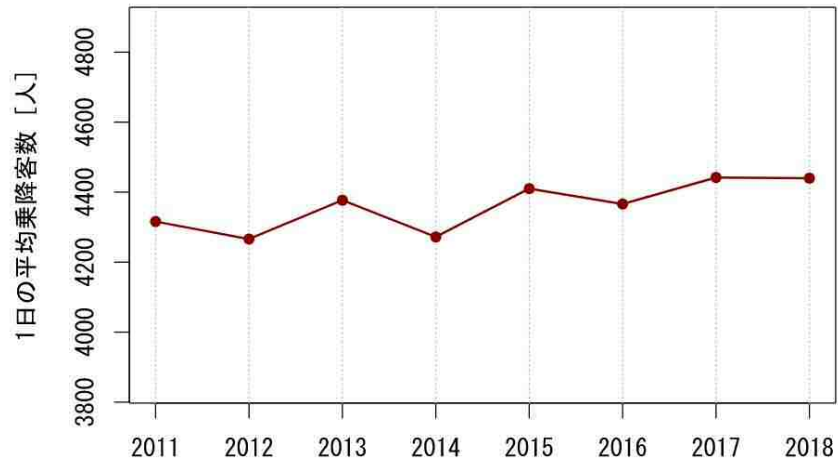


図 倉吉駅の1日の平均乗降車数

出典：国土数値情報（駅別乗降客数データ）



図 特急列車の様子

出典：JR西日本HP

②高速バス

- 高速バスは、日ノ丸バス(株)と日本交通(株)の2社が運行しており、東は東京から西は福岡まで運行しています。

表 高速バスでのアクセスについて

発	着(倉吉市内)	所要時間	備考
東京	倉吉バスセンター、倉吉駅前	約 11 時間 30 分	高速バスは、日ノ丸バス(株)と日本交通(株)の2社が運行
京都	鳥取駅前	約 4 時間	
大阪・神戸	倉吉駅前、倉吉バスセンター	約 4 時間	
岡山	関金温泉、倉吉市役所前、倉吉駅前、 日ノ丸自動車倉吉営業所	約 2.5 時間	
広島	関金温泉、倉吉市役所前、倉吉駅前、 倉吉バスセンター	約 4 時間	
福岡	倉吉バスセンター	約 9 時間 30 分	

出典：倉吉市 HP



図 高速バスの様子

出典：日本交通(株) HP、日ノ丸バス(株) HP

③路線バス

- 本市では、日ノ丸自動車(株)と日本交通(株)の2つの民間バス事業者が本市内の路線バスの運行を行っており、中心部へは倉吉駅から19系統の路線が運行しています。
- 高齢者向けの移動支援サービスとして、高齢者向けバス定期券を販売しています。

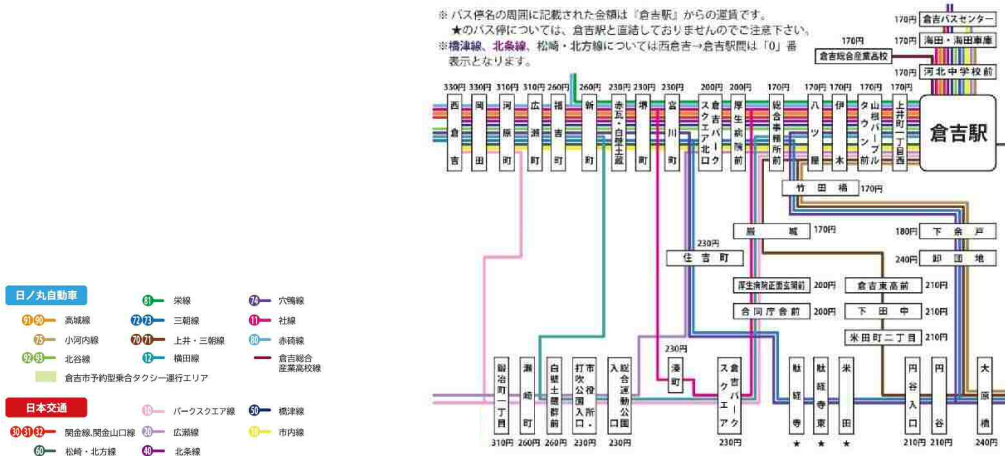


図 周遊滞在エリア周辺のバス路線

出典：鳥取県中部地域バスマップ



図 周遊滞在エリアのバス停位置

出典：鳥取県中部地域バスマップ

【参考】高齢者向けバス定期券

表 高齢者向けバス定期券

事業者名	定期券の名称	対象年齢	有効期間	定価	販売額	対象路線
日ノ丸自動車	架け橋	70歳以上	6か月	20,900円	10,450	県内の日ノ丸自動車の路線
	因幡	65歳以上	3か月	11,500	5,750	東部地域の日ノ丸自動車の路線
日本交通	シルバー悠遊	65歳以上	3か月	10,400	5,200	県内の日本交通の路線
			6か月	17,700	8,850	
			1年	31,400	15,700	
日ノ丸自動車・日本交通	グラウンド70	70歳以上	6か月	26,200	13,100	県内の日ノ丸自動車、日本交通の路線

出典：鳥取市HP

【参考】周遊滞在エリア内の南北の路線バスの運行本数

- ・倉吉駅からのアクセスでは、平日休日ともに、北側ルートの方が運行頻度は多い傾向にあります。
- ・パークスクエア（敷地内）～白壁土蔵群周辺間の連絡では、運行頻度は1時間に1便程度となっています。

表 周遊滞在エリアの路線バスの運行本数【平日】

時間帯 (時台)	倉吉駅からのアクセス				パークスクエア（敷地内）～白壁土蔵群周辺間の連絡			
	北側ルート		南側ルート		北側ルート		南側ルート	
	行き	帰り	行き	帰り	東→西	西→東	東→西	西→東
	倉吉駅	赤瓦・白壁土蔵	倉吉駅	白壁土蔵群前	パークスクエア	赤瓦・白壁土蔵	パークスクエア	白壁土蔵群前
	→赤瓦・白壁土蔵	→倉吉駅	→白壁土蔵群前	→倉吉駅	→赤瓦・白壁土蔵	→パークスクエア	→白壁土蔵群前	→パークスクエア
7	9	11	1	1	0	0	1	0
8	6	8	4	3	0	1	2	3
9	5	7	2	3	0	0	3	1
10	5	5	1	1	1	1	1	1
11	8	4	2	3	0	0	1	3
12	4	6	2	3	1	1	1	2
13	4	5	2	2	1	0	1	1
14	4	5	1	1	0	1	1	1
15	7	5	2	1	1	1	2	1
16	5	4	3	3	1	0	1	2
17	11	8	4	2	1	1	2	2
18	6	7	2	2	0	1	2	1
19	3	3	0	1	0	0	1	1
20	2	1	0	0	0	0	0	0

※ 「バスネット」による検索結果（2022/1/27現在、平日：1/27（木）、休日：1/30（日）の検索結果）

※ 赤字：1時間帯に3本以上（概ね20分に1本（鳥取市くる梨の運行間隔））

倉吉駅～周遊滞在エリアの路線バスは、 行き帰りともに概ね10分に1本以上	周遊滞在エリア内（パークスクエア～白壁土蔵群周辺）を連絡する路 線バスは、行き帰りともに概ね30分～1時間に1本程度
---	---

表 周遊滞在エリアの路線バスの運行本数【休日】

時間帯 (時台)	倉吉駅からのアクセス				パークスクエア（敷地内）～白壁土蔵群周辺間の連絡			
	北側ルート		南側ルート		北側ルート		南側ルート	
	行き	帰り	行き	帰り	東→西	西→東	東→西	西→東
	倉吉駅	赤瓦・白壁土蔵	倉吉駅	白壁土蔵群前	パークスクエア	赤瓦・白壁土蔵	パークスクエア	白壁土蔵群前
	→赤瓦・白壁土蔵	→倉吉駅	→白壁土蔵群前	→倉吉駅	→赤瓦・白壁土蔵	→パークスクエア	→白壁土蔵群前	→パークスクエア
7	3	7	1	0	0	0	1	1
8	6	5	1	2	0	1	1	2
9	6	6	2	1	0	0	2	0
10	6	7	0	1	1	1	0	1
11	8	4	1	1	0	0	1	1
12	3	6	1	2	1	1	1	2
13	6	4	2	1	1	0	1	1
14	3	6	0	1	0	1	1	1
15	7	5	0	1	1	1	0	1
16	5	6	3	1	1	0	1	1
17	9	6	3	2	1	1	1	2
18	2	5	0	0	0	1	1	0
19	1	0	0	1	0	0	0	1
20	0	0	0	0	0	0	0	0

※ 「バスネット」による検索結果（2022/1/27現在、平日：1/27（木）、休日：1/30（日）の検索結果）

※ 赤字：1時間帯に3本以上（概ね20分に1本（鳥取市くる梨の運行間隔））

倉吉駅～周遊滞在エリアの路線バスは、 行き帰りともに概ね10分に1本以上	周遊滞在エリア内（パークスクエア～白壁土蔵群周辺）を連絡する路 線バスは、行き帰りともに概ね30分～1時間に1本程度
---	---

④乗合タクシー

- 本市は、一部地域において、乗合タクシーの運行を行い、各地域の移動手段を確保しています。

表 乗合タクシー 対象地区

地区名	自治公民館名	横田	小学校前 公民館前
北谷	オケ崎・三江・福本・福富・尾田・沢谷・杉野	100円	100円
高城	下米積・上米積本郷・上米積東・上米積西・若葉町1丁目・若葉町2丁目・ 下福田・上福田・昭和・妻ノ神・勝負谷		
北谷	志津・仙隠・横谷・藤井谷・梓谷・中野・長谷・森・つつじが丘・大河内・汗干	200円	
高城	今在家・服部・旭原・福積・岡・桜・横手・大立・般若・棕波		
高城	河来見・上大立・立見	300円	200円

※小学生、障がい者手帳、療育手帳の保有者は半額、小学生未満、小学生のうち通学定期券保有者は無料

出典：鳥取県中部地域公共交通網形成計画

⑤タクシー

- 倉吉市に展開するタクシー事業者は「日の丸ハイヤー」「中央タクシー」「日交タクシー」「倉吉交通」の4社です。
- また、倉吉市では重度障害者向けにタクシー料金の助成を行っています。

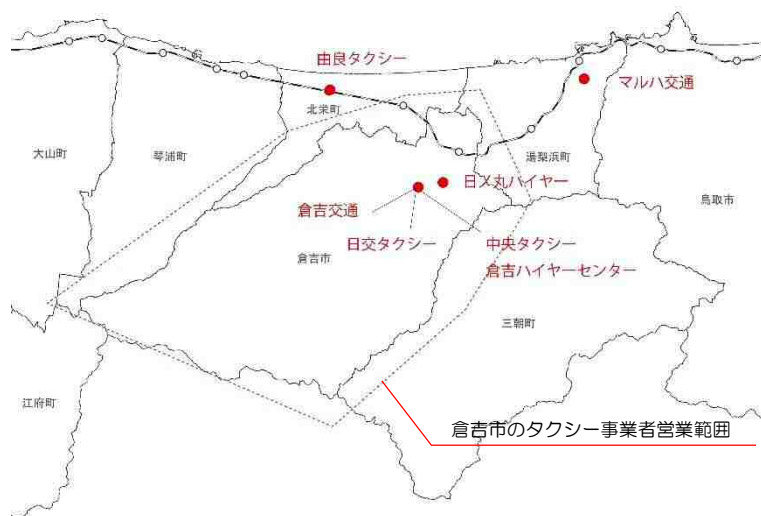


図 倉吉市のタクシー事業者

⑥重度障害者向けにタクシー料金助成制度について

- 倉吉市内に住所があり、次の①～③のいずれかの手帳を保有する方が対象

- ① 身体障害者手帳 1・2 級
- ② 療育手帳 A
- ③ 精神障害者保健福祉手帳 1 級

※人工透析による通院費の助成を受ける方及び他市町村の障害福祉サービスの支給決定を受けている方は対象にならない

出典：倉吉市

⑦レンタサイクル

- 倉吉市中心市街地では“JR 倉吉駅内観光案内所”、“倉吉白壁土蔵群観光案内所”、“円形劇場 くらよしフィギュアミュージアム”でレンタサイクルサービスを実施しています。

表 レンタサイクル概要

種類	車種	貸出場所	料金
くらりん  出典: 倉吉観光 MICE 協会	シティサイクル	・JR倉吉駅内観光案内所 ・倉吉白壁土蔵群観光案内所	500 円/日
ひなびた♪サイクル  出典: 倉吉観光 MICE 協会	シティサイクル (装飾)	・JR倉吉駅内観光案内所 ・倉吉白壁土蔵群観光案内所 ・円形劇場くらよしフィギュアミュージアム	500 円/日
もちゃちゃ♪  出典: 倉吉観光 MICE 協会	シティサイクル (装飾)	・倉吉白壁土蔵群観光案内所	500 円/3 時間

出典：倉吉市

- レンタサイクル利用者を月ごとで見ると、平成 30 年を除いて 8～11 月に利用が集中しています。
- レンタサイクルの利用者数は平成 30 年度から令和 2 年度にかけて減少傾向にあります。

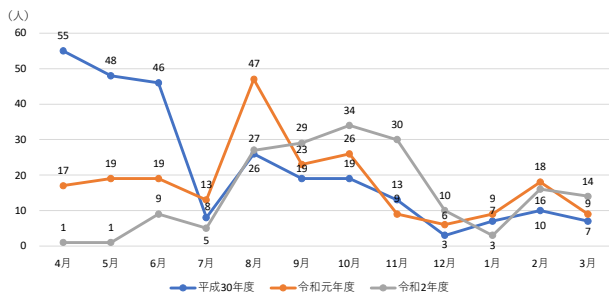


図 月別レンタサイクル利用者数

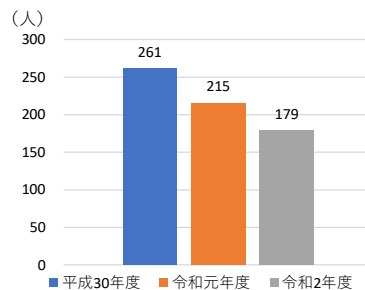


図 年度別レンタサイクル利用者数

出典：倉吉市

(3) 駐車場

- 周遊滞在エリア周辺では、市の無料観光駐車場が合計で11箇所配備されています。
- 収容台数は、計1,227台（バスは30台）であり、P10（パークスクエア・鳥取二十世紀梨記念館）が最も収容台数が多い駐車場です。



番号	駐車場名 / 収容台数
P1	琴櫻・赤瓦観光バス回転広場 / バス7台 ※先着順（満車の場合はP7またはP10に回送ください） 利用時間 8:30～17:00
P2	琴櫻・赤瓦観光駐車場 / 13台（うち身障者用1台）
P3	市役所第1観光駐車場 / 52台（うち身障者用3台）
P4	市役所第2観光駐車場 / 200台（うち身障者用1台）
P5	裁判所横観光駐車場 / 10台
P6	明治町観光駐車場 / 14台、バス3台 利用時間 8:30～18:30
P7	宮川町観光駐車場 / 49台（うち身障者用2台）、バス4台 利用時間 8:30～18:30
P8	緑の彫刻プロムナード公園駐車場 / 45台
P9	(名称なし) / 42台
P10	倉吉パークスクエア・鳥取二十世紀梨記念館 倉吉未来中心 / 752台（うち身障者用26台）、バス13台
P11	鍛冶町観光駐車場 / 50台、バス3台
P12	観光・市民駐車場（市営新町駐車場） / 20台 1時間以内無料、2時間以内200円 (以降1時間ごとに100円追加)

図 打吹地区周辺の観光駐車場 MAP

出典：倉吉白壁土蔵群周辺駐車場案内マップ